

## ▼バレオンカプセル [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ロメフロキサシン塩酸塩 (LFLX) (U) Lomefloxacin hydrochloride 【分類】ニューキノロン系抗菌剤

【単位】▼100mg・▼200mg/Cap

【常用量】200～600mg/日

【用法】分2～3

【透析患者への投与方法】1回100～200mgを24hrおきに(5)

【その他の報告】50%に減量(3)

【PD】50%に減量(3)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr>50mL/min:減量の必要なし, Ccr10～50mL/min:1回100～200mgを12～24hr毎, Ccr<10mL/min:1回100～200mgを24hr毎(5)

【その他の報告】GFR>50mL/min:減量の必要なし, GFR10～50mL/min:50～75%に減量, GFR<10mL/min:50%に減量(3)

Ccr>40mL/min:400mgを1日1回, Ccr40mL/min以下:初回400mg, 以後200mgを1日1回(U)

【特徴】1990年に発売開始されたニューキノロン系抗菌薬で1日2～3回投与が設定されている。しかし、半減期が比較的長いこともあり、他のキノロンと同様に1日1回投与が望ましい。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー、急性腎不全、偽膜性大腸炎、低血糖、横紋筋融解症、SJS、TEN、間質性肺炎、過敏症、血球減少、肝障害、めまい、消化器症状など

【吸収】食事の影響を受けない(U)

【F】データなし(1)95～98%(U)

【tmax】0.97～1.23hr(1)1.5hr(U)

【代謝】尿中回収物より一部がグルクロン酸抱合されるが、その割合は低い(1)5%が代謝を受ける(U)

【排泄】尿中未変化体排泄率72.2% [po](1)80.6% [72hrまで](1)60～80% [48hrまで](U)胆汁排泄率10%(U)

【CL】243mL/min [po](1)

【t1/2】7.12～8.48hr(1) 【腎障害患者のt1/2】21～45hr(U) Ccr58.8～72.8mL/min:10.55hr, Ccr30mL/min:12.6hr, Ccr9.8mL/min:20.8hr(1)

【蛋白結合率】21.4%(1)10%(U)

【Vd】1.8～2.5L/kg(U)2.6L/kg(1)

【MW】387.81

【透析性】除去率3%未満(U)

【O/W係数】0.093 [1-オクタノール/buffer, pH7.4](1)

【相互作用】カフェイン、テオフィリン代謝に影響しない(U)

【最大効果発現時間】

【効果持続時間】

【更新日】20170418

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。